

令和4年6月22日	
資料提供	
担当	和歌山県金融広報委員会 瀬崎、山本 (和歌山県消費生活センター内)
電話	073-426-0298

【作文・小論文コンクール開催について】

第55回「おかねの作文」コンクール

第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

第19回 金融教育に関する実践報告コンクール

標記につきまして、金融広報中央委員会(事務局：日本銀行情報サービス局内)が中学生、高校生、教職員などを対象に学校における金融教育の普及啓発のために実施いたしますのでお知らせいたします。(詳細は裏面をご覧ください。)

【コンクール開催のご案内】

中学生、高校生、教員などを対象として、3つのコンクールを開催します

第55回「おかねの作文」コンクール

第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール

第19回金融教育に関する実践報告コンクール

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、金融教育の学校向け主要事業として、第55回「おかねの作文」コンクール(中学生対象)、第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール(高校生等対象)、第19回金融教育に関する実践報告コンクール(教育関係者等対象)を実施します。

中学生・高校生等対象のコンクールは、「おかね」や「金融と経済」をテーマに、青少年の健全な金銭観・価値観や考える力を育むことを目的としています。また、金融教育に関する実践報告コンクールは、教育関係者に金融教育への理解を深めていただき、学校でより積極的に金融教育に取り組んでいただくことを目的としています。

私たちを取り巻く社会が複雑になる中、子どもたちには、生活や社会について自ら考え、判断し、行動する力を身に付けることが求められています。金融教育はこのような力を養い、子どもたちの「社会の中で生きる力」を育むことにつながります。

コンクールの趣旨をご理解いただき、貴媒体にてご紹介くださいましたら幸いです。



コンクール開催概要は、次ページをご参照ください。同封のチラシの内容につきましては、コンクール専用サイト (<https://www.ron2022.jp/>) にも掲載しています。

また、記事原稿案を添付しましたのでご活用ください。

本件に関するお問合せ、また記事を掲載される際には、下記事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。

<本件照会先> 金融広報中央委員会コンクール事務局

担当: 村島・原・杉原 TEL: 03-6265-6818 (土・日・祝日を除く10時~17時)

www.shiruporuto.jp

【コンクール開催概要】

- コンクール名称 **第55回「おかねの作文」コンクール**
- 主催 金融広報中央委員会
- 後援 金融庁、文部科学省、日本銀行、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本私立中学高等学校連合会
- 応募資格 中学生
- 賞
 - 特選 5編(賞状と図書カード4万円分)
 - 金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞/金融広報中央委員会会長賞
 - 秀作 5編(賞状と図書カード2万円分) ●佳作 10編(賞状と図書カード3千円分)
 - 学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
- 締め切り 2022年9月15日(木) ※消印有効
- 発表 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

- コンクール名称 **第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール**
- 主催 金融広報中央委員会
- 後援 金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会
- 応募資格 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生
- 賞
 - 特選 5編(賞状と奨学金5万円)
 - 金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞
 - 秀作 5編(賞状と奨学金3万円) ●佳作 10編(賞状と図書カード6千円分)
 - 学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)
- 締め切り 2022年9月15日(木) ※消印有効
- 発表 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

- コンクール名称 **第19回金融教育に関する実践報告コンクール**
- 主催 金融広報中央委員会
- 後援 金融庁、文部科学省、日本銀行
- 応募資格 幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校教員、教員経験者、教職課程在籍または教職を目指す大学生、大学院生、大学教官等研究者
※共同執筆の場合、1名でも教員が含まれていれば応募可能。
- 賞
 - 特賞 1編(賞状と賞金30万円) ●優秀賞 3編(賞状と賞金20万円)
 - 奨励賞 4編(賞状と賞金5万円)
- 締め切り 2022年9月30日(金) ※消印有効
- 発表 12月下旬、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。
- 表彰式 12月26日(月)〈予定〉、日本銀行本店の周辺で開催

- 作品送付先 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス
金融広報中央委員会コンクール事務局 「〇〇〇〇〇(各コンクール名)」係
- 問い合わせ先 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL:03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

<本件照会先> 金融広報中央委員会コンクール事務局
担当: 村島・原・杉原 TEL: 03-6265-6818 (土・日・祝日を除く10時~17時)

【コンクール記事原稿案】

【記事原稿案1 (164字)】

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)では、中学生、高校生、教員・教員経験者や教職を目指す大学生等を対象とした3つの作文・小論文コンクールを開催中。詳細は、コンクール事務局(TEL.03-6265-6818)が金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ(<https://www.ron2022.jp/>)へ。

【記事原稿案2 (357字)】

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)では、青少年の健全な金銭観・価値観や考える力を育むため、金融庁、文部科学省、日本銀行等の後援で、3つの作文・小論文コンクールを開催中。第55回「おかねの作文」コンクール:中学生対象、締め切り9月15日、第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール:高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生対象、締め切り9月15日、第19回金融教育に関する実践報告コンクール:幼稚園教諭、小・中・高・高専等教員、教員経験者、教職課程在籍・教職を目指す大学生、大学院生、大学教官等研究者対象、締め切り9月30日◆詳細・問い合わせはコンクール事務局(TEL.03-6265-6818)へ。
<https://www.ron2022.jp/>

【記事原稿案3 (1817字)】

金融広報中央委員会(事務局:日本銀行情報サービス局内)では、金融庁や文部科学省、日本銀行等の後援で中学生、高校生等、教員・教員経験者や教職を目指す大学生等を対象とした3つの作文・小論文コンクールを開催中。詳細・お問い合わせはコンクール事務局(TEL.03-6265-6818)へ。<https://www.ron2022.jp/>

■第55回「おかねの作文」コンクール(中学生対象)

▽テーマ=自由(「おかね」に関するものであればどのようなものでも可)。テーマの例:①将来の夢の実現とおかねの関わり、②私のおかねのルールやわが家の約束事、③活きたおかねの使い方とは、④ニュースにみるおかね▽応募資格=中学生▽賞=特選5編:金融担当大臣賞、文部科学大臣賞、日本銀行総裁賞、日本PTA全国協議会会長賞、金融広報中央委員会会長賞(賞状と図書カード4万円分)／秀作5編(賞状と図書カード2万円分)／佳作10編(賞状と図書カード3千円分)／学校賞[特選受賞者在籍校]5校(賞状と図書カード1万円分)▽文字数=空白を含む1,200~2,000字▽締め切り=9月15日(消印有効)▽発表=12月中旬頃、金融広報中央委員会HP上など▽作品送付先=〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス 金融広報中央委員会コンクール事務局「おかねの作文」コンクール係▽問い合わせ先=TEL.03-6265-6818▽主催=金融広報中央委員会▽後援=金融庁、文部科学省、日本銀行、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本私立中学高等学校連合会

■第20回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール(高校生等対象)

▽テーマ=「金融や経済」に関すること。次の4テーマから1つ選択。①よりよい社会・人生を築く! 私のお金の活かし方、②経済社会の課題解決に向けて! 私が期待する金融・起業の役割、③成年年齢18歳! 自立するために必要なこと、④上記以外の金融・経済に関するテーマ▽応募資格=高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生▽賞=特選5編:金融担当大臣賞、文部科学大臣賞、日本銀行総裁賞、全国公民科・社会科教育研究会会長賞、金融広報中央委員会会長賞(賞状と奨学金5万円)／秀作5編(賞状と奨学金3万円)／佳作10編(賞状と図書カード6千円分)／学校賞[特選受賞者在籍校]5校(賞状と図書カード1万円分)▽文字数=空白を含む1,600~4,000字▽締め切り=9月15日(消印有効)▽発表=12月中旬頃、金融広報中央委員会HP上など▽作品送付先=〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス 金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係▽問い合わせ先=TEL.03-6265-6818▽主催=金融広報中央委員会▽後援=金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会

■第19回金融教育に関する実践報告コンクール(教員・教員経験者、教職を目指す大学生等対象)

▽主な審査事項=金融環境が大きく変化し、健全な金銭観や「生きる力」としての金融・経済感覚を持って生活できる児童・生徒を育成することの重要性が高まっている中で、読む人々に力強い共感を与え、「金融教育」の実践をどのように展開すべきかを考えたり、「金融教育」の今後の方向性や、研究結果や提言が盛り込まれた内容であるか等を基準として審査。▽応募資格=幼稚園教諭、小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・高等専修学校教員、教員経験者、教職課程在籍または教職を目指す大学生、大学院生、大学教官等研究者▽賞=特賞1編(賞状と賞金30万円)優秀賞3編(賞状と賞金20万円)奨励賞4編(賞状と賞金5万円)▽文字数・資料=1,000~6,000字および指導計画書。図表・写真等は添付可▽締め切り=9月30日(消印有効)▽発表=12月下旬、金融広報中央委員会HPなど▽作品送付先=〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス 金融広報中央委員会コンクール事務局「金融教育に関する実践報告コンクール」係▽問い合わせ先=TEL.03-6265-6818▽主催=金融広報中央委員会▽後援=金融庁、文部科学省、日本銀行